

◇松伏町が今後5年間で取り組む総合戦略

本町の人口問題における今後5年間の課題を克服するため、総合戦略では、下記の基本理念のもと、4つの基本目標と土地利用構想に関する重点施策を定め、即効性のある施策・事業に取り組んでいきます。

基本理念：交流人口を増やす魅力づくりと町民満足度の向上

基本目標 1 魅力ある働く場を確保する

労働環境を向上し、多様な働き方の実現をめざして、魅力ある雇用の場づくりに戦略的に取り組みます。

<基本目標に対する数値目標>

- 町民意識調査による「通勤・通学の利便性」に関する町民の満足度の割合
(平成27年：19.3%→平成31年：25.0%)
- 町民意識調査による「働く場所が限られている」を転出したい理由に挙げる町民の割合
(平成27年：23.1%→平成31年：20.0%)

施策1 労働環境の向上支援
施策2 企業の支援と誘致

基本目標 2 新たにひとを呼び込む魅力を発信する

町外から新たにひとを呼び込むために、ひとを惹きつける魅力を創出し、内外に発信することで、交流人口の増加及び定住化につなげます。

<基本目標に対する数値目標>

- 町内人口の純移動数
(平成26年：-145人→平成31年：±0)
- 年間平均滞在人口
(平成27年：56,617人→平成31年：57,000人)

施策1 地域の特産品開発とPR
施策2 転入しやすい環境づくり

基本目標 3 自然環境の良さを活かして、子育てや暮らしの環境を向上させる

子育て環境を向上させることにより、本町へのファミリー層の定着と呼び込みを図ります。

<基本目標に対する数値目標>

- 町民意識調査による「子育て環境」に関する町民の満足度の割合
(平成27年：56.2%→平成31年：65.0%)
- 町民意識調査による「子どもの教育環境」に関する町民の満足度の割合
(平成27年：48.0%→平成31年：55.0%)

施策1 松伏町の特色を活かした教育環境の充実
施策2 子育て世帯への支援
施策3 多世代交流の場づくり

基本目標 4 町民ニーズに合った、生活利便性が向上するまちをつくる

町域北部及び整備予定の主要道路の結節点周辺を拠点として本町の弱みを補う事業を展開し、より快適に暮らせるまちづくりをめざします。

<基本目標に対する数値目標>

- 町民意識調査による「公共施設の整備」に関する町民の満足度の割合
(平成27年：39.0%→平成31年：45.0%)
- 町民意識調査による「行政サービス」に関する町民の満足度の割合
(平成27年：36.1%→平成31年：40.0%)

施策1 新たな拠点形成の推進
施策2 交通基盤整備の推進

土地利用構想に関する重点施策

第5次総合振興計画における土地利用構想は、流入人口の受け皿の観点からも大変重要であることから、本総合戦略においても、土地利用構想に関する重点施策として2つのプロジェクトを位置づけます。

まつぶし北部活性化プロジェクト

北部サービスセンター(旧老人福祉センター)*とその周辺地域では、多くの町民が集える憩いの場としての機能を充実させ、地域の活性化を図ります。

- 行政サービスの拡充及び多くの住民が交流する機会の提供
- 北部地区の活性化の推進及び利便性の向上に向けた取り組み
- 北部地区への居住促進
- ICT教育の推進・小規模特認校の検討

*「老人福祉センター」は平成28年4月1日より「北部サービスセンター」に改称

新市街地整備プロジェクト

(都)東埼玉道路と(都)浦和野田線の結節点周辺では、新たな人口増加の受け皿とともに雇用の場を創出する産業集積を進めていきます。

- 産業系土地利用の推進に向けた新市街地整備構想の検討
- 新たな町のシンボルとなりコミュニティの要となる核拠点の創出
- 工業集積地域の整備促進

※松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略概要版から抜粋